



校訓「ほんきで なかよく きまりよく」【学校創立151年・地域に支えられ、がんばる桑っ子】

学校教育目標 …「夢に向かい 感性を育む 桑っ子」

重点目標…「自ら感じ、考え、行動する子」

チーム担任制にすることの意義とは何か？

令和6年度が終了しました。いろいろとご協力頂きありがとうございました。学校だより最終号の今回は、次年度から導入するチーム担任制について、ご説明させていただきます。

☆そもそもチーム担任制とは…

*下記は低学年部1～3年。高学年部4～6年も同様。

1年担任	2年担任	3年担任	➡	1～3年生担任
1年生	2年生	3年生		1年生 2年生 3年生

上記の表のように、縦の線がなくなり、低学年の3人の担任でチームとなってお子様の指導に当たります。これは、チーム桑村として、教職員が、みんなで、すべての子供をみていく「誰一人取り残さない教育」を推進することが大きな目的です。

具体的には、中学のように教科担任制にして、教科ごとに一人の教員が複数の学年を受け持ちます。朝の会、帰りの会、給食等は、1週間程度の短い期間で担当が変わっていきます。このようにして3人の担任が全ての学年に関わるようにしていきます。

チーム担任制のメリットとして、子供たちは多くの担任と関わることができるので、従来の担任による差がなくなり、子供たちからすると話しやすい先生に話すとか、これは、あの先生に聞いてみようとかなどと、選択肢が増えます。

2つ目に、教科によって先生が変わるので、より専門的に教科指導ができます。中学では現在も行っていることなので、中学の授業にもスムーズにつなげることができます。

3つ目に、これまでは1年で担任は交代していましたが、継続的に子供と関わることができます。これにより年度替わりの引き継ぎがスムーズにいき、保護者の方々も次の学年への橋渡しについての心配が少なくなるのではないかと考えています。

デメリットはあまりないのですが、担任が定まらないと子供が誰に話していいかわからなくなるのではないかと不安がある方もいらっしゃるかもしれません。これについては、3人の中から自分が一番話しやすい人と関われば良いので、子供はすぐに慣れるのではないかと考えています。実際にこの方式を導入している他地区の学校でも、子供からそのような不安の声はあがっていないと聞いています。

本校は小規模校で、学級の人数が少ないことから、担任との関係性はとても強くなります。これは良さでもあり、時に課題にもなります。複数で関わることで、それぞれの担任と適度な関係性を保つことができれば、子供のコミュニケーション力の向上にもつながるだけでなく、安心できる場も確保できるのではないかと思います。

桑村小学校をさらに良い学校にしていくためには、地域や保護者との連携を深めながら、小規模校としての課題を克服していくことが必要です。そのための一歩として、教職員の意識改革を進めていきますので、来年度も、本校の教育活動にご理解、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

